
Resident evil Code doranica

ちゅうねん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Resident evil Code doranica

【Nコード】

N5469V

【作者名】

ちゅうねん

【あらすじ】

ノビタの町に訪れる、生物災害の危機

使い古された組み合わせ

序章

序

その日ノビタは珍しく遅刻することなく学校へ向かった。最近ノビタのママは体調が悪く、朝食も作れず寝室で臥せていた。そんなママに苦勞をかけまいと、ノビタは昨日学校から帰ると直ぐに宿題を済ませて就寝。朝はドラえもんの秘密道具の目覚まし時計に文字通り『叩き』起こされたのだ。

「行ってきまーす！」

「ああ、ノビ。寄り道せずに帰るんだぞ」

パパはわざわざ有休をとってママの看病をしていた。居間から聞こえるパパの送り声に新鮮さを感じつつ玄関を出る。

「ふふふ…行っつらっしやい、ノビタ君」

ドラえもんは二階の窓から微笑ましげにノビタを見送ると、大きな欠伸とともに二度目の眠りに就くべく押入れへと向かった。

「なんだか騒がしいなあ…。どうしたんだらう?」

その日の町はなんだか騒がしかった。

町のおちらこちらからパトカーや救急車のサイレンが鳴り響き、時々空からはヘリコプターのローター音が聞こえる。

時間は既に7時。

普段ならば通学や通勤をする人々に沢山すれ違はずだ。

しかし町には人どころか犬猫さえも見かけなかった。時折見かける大きなカラスが不気味に鳴くばかりだった。

「はやく学校に行ってシズカちゃんと遊ぼう!」

残念ながら、この時間に登校した経験の少ないノビタはその異常に気がつけなかった。

やがて空き地の前を通りかかった時、なんとはなしに空き地を見たノビタの目に妙なものが映った。

横積みにされた土管の前。
赤い絵の具の上で蠢く、朽葉色の剥げ頭。

何だろう?と、一歩空き地に踏み出したノビタの脚が凍りつく。

よく見ると剥げ頭は『何か』の上で小刻みに揺れていた。
赤い絵の具を垂れながら、痙攣するように動く
その頭が、ぎこちなく、こちらを向く。

戦慄

戦慄

ノビタは二度戦慄した。

一度目はその血まみれの顔と、余りにおぞましく変化したその容貌に。

二度目はその血まみれの顔が知り合いだったとき。

「か、かみなりさん…」

剥げ頭の正体は空き地の隣に住むかみなりさんだった。
しかしその様子は明らかに異常であった。

赤く曇った眼鏡のズレを直そうともせず、
血脂にぎらつく口髭の下

には
むき出しの歯茎と黄色い歯が覗く。
そしてその目は白く濁り、ノビタを睨め付けていた。

どちゃり

かみなりの手から落ちたものが湿った重い音を立てて『こちらを向いた』

白い頭蓋を半分曝した、知らない生首。

「う…、あ…!!」

余りの衝撃に、凍り付いていたノビタの脚が後退する。ドン。
背中に軽い衝撃。

振り向くとそこに、かみなりさんと同じような姿をした人…いや、
化け物が濁った目で
こちらを見ていた。

「あ…あ〜」

「うわあああああああっ!!」

化け物が呻きながらノビタのランドセルを掴んだ瞬間、ノビタは
ランドセルを捨てて全力で逃げる。

「ド、ドラえっ…！。だ、だれかー！」

誰もいない道を、ノビタは助けを求めながら家へと走った。

序章（後書き）

使い古された組み合わせ。

ゆっくりでも更新できたらいいな！。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5469v/>

Resident evil Code doranica

2011年10月9日12時53分発行